

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C	令和5年12月27日
横断的な課題	八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり					
地域重点政策	ものづくり・観光・農林業振興					諏訪地域振興局
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	インバウンド受入推進事業				電話	0266-57-2955(内線2111)
					E-mail	suwachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	歴史・文化・アクティビティなど観光資源のブラッシュアップ・結びつけで地域の魅力を高め、インバウンド誘客及び消費拡大を目指す。				
	現状と課題	国内のインバウンド需要が急速に回復する中で、諏訪地域においても従来から訪問が多かった台湾・中国・東南アジア市場を中心に回復基調にある。更なる誘客に向け、諏訪地方観光連盟を中心に、アジア向けのプロモーションを行うほか、各観光事業者においては、観光庁の「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けたコンテンツ造成事業」を活用した観光資源の磨き上げに取り組んでいる。また、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」に合わせ、海外旅行会社やメディア等を対象に諏訪地域の自然や文化、アクティビティを盛り込んだ体験ツアーが催行される。これらの取組を効果的に誘客へつなげるため、単独・単発的な取り組みとせず、地域内で共有し、組み合わせや更なる磨き上げを図る必要がある。				
	内容 (変更後の内容)	セミナー及びパネルディスカッションの実施 開催日：令和5年11月30日(木) 13:30-15:30 会場：RAKO華乃井ホテル 対象：諏訪地域の観光関連事業者、行政関係者 内容：観光資源を組み合わせ、効果的にインバウンド誘客へつなげるため、地域コンテンツの再確認から受入環境、諏訪地域の可能性について、専門家を招き、セミナーを開催するとともに、地域でインバウンド誘客に取り組む事業者をパネリストに迎え、今後の課題や方向性等をテーマに意見交換を行う。また、本セミナー満足度及び今後の方向性に関するアンケート調査を実施。				
	事業期間	R5.10		～	R5.12	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	インバウンドセミナー ・意見交換会	講師・パネリスト謝金	83,200	@6,400×5H×2人、@6,400×3H×1人		
		講師・パネリスト旅費	43,380	@41,880×1人、@1,500×1人		
		資料・チラシ用紙、消耗品代	12,240	A3@2.2×300枚、A4@1.1×3,000枚 ほか事務用品		
資料・チラシ印刷機使用料		8,305	カラー@3.85×2,100枚 モノクロ@0.935×235枚			
合計		147,125				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	参加者(宿泊・観光事業者、行政関係者等)		30人以上	35人	● 達成	
	参加者満足度(5段階中4以上)		80%以上	85%	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	【事業実績】 地域のインバウンド受入を推進するため、自然や文化体験を楽しむアドベンチャートラベル(AT)に焦点を当てたセミナーを開催した。セミナーでは、今年9月に実施された県内のAT体験ツアーに携わった関係者による振り返りとパネルディスカッションを行った。宿泊業、行政・団体中心に地域の観光に携わる35名に参加いただき、参加者アンケートにおいて、セミナー内容の満足度が5段階(5が最高点)中4以上であった参加者の割合は85%であったことから、インバウンド向け体験コンテンツの造成や市場へのアプローチの方向性に一定の理解が得られた。また、それぞれの業種におけるインバウンド受入の課題やニーズを共有することができた。					
	【成果】 参加者が学ぶだけでなく、インバウンド向け商品企画・販売事業者である登壇者(当該ツアーに携わった関係者)に、ツアーの行程には含まれなかった体験コンテンツ(ちの観光まちづくり推進機構が提供する「地元のおばあちゃんと郷土料理体験」や下諏訪町の酒蔵が提供する「日本酒づくり体験」等)を認知いただく機会となった。また、参加者である観光施設業者との交流が生まれ、今年中の視察が予定されているなど、インバウンド受入に向けた具体的な動きに広まりつつある。					
今後の方向性	引き続き、観光消費の拡大を図るため、インバウンドが自然や文化体験を楽しめるコンテンツなど地域内の観光消費につながるプロモーションに取り組み、受入を推進する。					